

あんじょ三市議会だより

第68号

令和7年2月1日(2025年)

12月定例会

主な内容

- 2頁 議案質疑・委員会審査
- 5頁 議案などの審議結果
- 6頁 一般質問のあらまし
- 15頁 委員会の調査報告

安城東高等学校は、令和7年に創立50周年を迎えます！



表紙は安城東高等学校の生徒さんの作品及び活動です。詳細は裏表紙をご覧ください。

一般会計補正予算をはじめ、19案件を議決

11月29日から12月19日までの21日間の会期で開かれました。条例改正及び制定、補正予算、指定管理者の指定などを審議し、閉会日には、国の施策である物価高騰対応重点支援給付金に関する補正予算が追加上程され、いずれも原案どおり可決しました。

ここでは、議案に対して行われた質疑の一部を掲載します。



議案
78号

市職員の修学部分休業に関する条例の制定

Q

この制度を導入する目的は。



A

市民ニーズや行政課題が多様化、高度化する中、行政サービスを提供する職員の育成には、既存の研修制度だけでなく、職員一人一人が意欲をもって、自発的に学べる環境の整備も重要であることから、新たな休業制度の導入を進めている。

Q

この休業制度は、休業が承認される要件の1つに、「当該職員の公務に関する能力の向上に資すると認めるとき」とある。どのような場合か。

また、職員の公務に関する能力の向上に資する修学内容には様々な分野があるが、例えば、考えられるものは何か。

A

職員が学ぼうとしている内容が、本市の現在、または将来の職務に役立つことが期待できるものであれば、認めることが可能であると考えている。

修学内容としては、公共政策、経営、公民連携などの分野が考えられる。



議案
87号

「虹の家」施設管理運営事業

Q

現在の指定管理料と、来年度からの指定管理料は。



虹の家

A

現在は、年1353万円余であり、来年度から5年間の指定管理料は5800万円(年1100万円余)を限度額としている。

Q

指定管理者が変わったとしても、利用者にとってこれまでと同様の環境を提供するための運営品質の維持が求められるが、来年度からの指定管理料をこれまでより減額しても運営品質を維持できると判断した理由は。

A

応募事業者は、安城市内で施設運営をしている実績があり、そのノウハウを生かすことができること、また、令和6年4月の報酬改定によって報酬単価が上がり、運営品質を維持できると考えている。



一般
会計

コミュニティ・スクール推進事業

補正額：377万円

Q 補正予算の内容と金額は。



A 需用費修繕料の295万円は、東山中学校内に設置するコミュニティ・スクールの部屋の修繕にかかるものである。備品購入費の82万円は、モデル校2校へ事務用備品として、パソコンとプリンターを購入するものである。

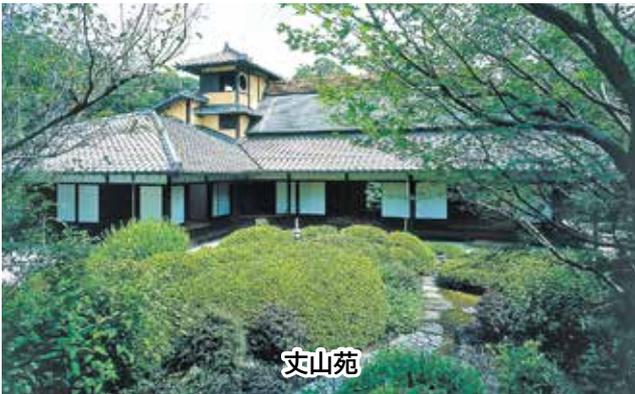


一般
会計

丈山苑の修繕設計委託料

補正額：610万円

Q なぜ、この時期に補正予算を計上するのか。



丈山苑

A 令和8年(2026年)にアジア競技大会が開催され、本市も2競技の試合会場となる予定である。海外から多くの方がお越しになると予想され、本市の歴史観光資源である丈山苑を訪れていただく絶好の機会である。そのため、令和7年度中に老朽化した施設の改修工事を終える必要があり、この時期に設計予算を計上した。



一般
会計

児童デイサービス事業 障害児通所扶助費

補正額：1億3000万円

Q 各事業所の開設は、市の判断ではなく、県の認可と承知しているが、過去、障害者施設で問題となった事例があるように、申請内容はクリアしたものの、事業運営や支援で不適切な結果となってしまふことを危惧している。

事業所の運営や支援が適切であるか、市はどのように確認されていくのか。

A 県が実施する実地指導に市も同行するほか、安城市自立支援協議会共生のまち部会とともに、各事業所を順に訪問している。

また、現在国が各事業所に対して、今年度末までに、放課後等デイサービスの総合的な支援の推進及び事業所の提供する支援の見える化を目的とした支援プログラムの作成及び公表を求めているので、その内容を確認していく。



一般会計

保育園に看護師を配置

補正額：1600万円(令和7年度までの債務負担行為※)

Q 専任看護師の配置予定人数と業務内容は、専任看護師を必要とされる園児への対応はどのようにされていたのか。また、4月の受け入れまでのスケジュールは。



A 医療的ケア児2人に対してそれぞれに専任看護師を配置する。業務内容は、在宅酸素療法及び経管栄養等の医療的ケアになる。

現在は、医療的ケア児1人に対して、1人の会計年度任用の専任看護師で対応している。

4月の入園前までに保護者の同意を得た上で、主治医から医療的ケアの実習指導、ケアの手順書の作成や訓練を行い、受け入れ体制を整えていく。

※年度をまたぎ支出の契約などをするもの



水道事業会計

上下水道料金システム更新事業

補正額：9500万円(令和7年度までの債務負担行為※)

Q 上下水道料金システム更新事業9500万円の内容は。

A 上下水道料金システムの構築、事務処理用パソコン、水道メーター検針用端末、プリンターなど関連機器の更新。

Q 令和7年度当初予算ではなく、補正予算で債務負担行為※の追加をする理由は。

A システム更新作業に約1年かかるため、作業期間の確保が必要。議決後、直ちに入札を行い、令和6年度内に契約し、更新業務に着手。現在使用している上下水道料金システムのサポートが終了する令和8年3月までにシステム更新業務を完成する必要があるため。

Q このシステム更新によって、水道業務を行うにあたり事務の効率化が図れるなど、新たな変更点は。



A 現在、年間約1000件の給水装置工事申請があり、水道使用者の住所・氏名、給水装置の設置場所、メーター口径、指定給水装置工事事業者等を申請書の内容をもとに職員がその都度入力しているが、更新後はオンライン申請に対応できるようになる。これにより入力作業が軽減され、事務の効率化を図ることができる。

▶ 12月定例会 議案などの審議結果

■安城創生会 18人 ■公明党 3人 ■みらいの風 3人 ■新社会 1人 ■新自民の会 1人 ■日本共産党 1人 ■安城維新 1人

議案名と会派名は、一部省略して記載しています。

- 公明党→公明党安城市議団
- 日本共産党→日本共産党安城市議員団

個人別審議
結果はこちら



会派別賛否(○賛成、×反対)

	提出された案件	結果	会派別賛否(○賛成、×反対)						
			安城創生会	公明党	みらいの風	新社会	新自民の会	日本共産党	安城維新
承認	第3号 専決処分について(令和6年度一般会計補正予算(第4号))	原案承認	○	○	○	○	○	○	○
市長提出 議案	第73号 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	×	×
	第74号 パートタイム会計年度任用職員の報酬等及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第75号 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	×	×
	第76号 市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第77号 フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第78号 市職員の修学部分休業に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第79号 西三河都市計画事業安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の換地処分に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第80号 西三河都市計画事業安城南明治第三土地区画整理事業施行規程の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第81号 令和6年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×
	第82号 令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第83号 令和6年度安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第84号 令和6年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第85号 令和6年度水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第86号 令和6年度下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	第87号 指定管理者の指定(安城市虹の家)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×
第88号 令和6年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	第2号 人権擁護委員の推薦	異議ない旨答申	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	第7号 議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

▶ 委員会・部会などの主な活動状況

11月	22日	議会運営委員会・総務企画部会
	27日	全員協議会

12月	10日	産業建設常任委員会・部会
	11日	市民文教常任委員会・部会
	12日	健康福祉常任委員会・部会
	13日	総務企画常任委員会
	16日	議会運営委員会
	19日	議会運営委員会 総務企画常任委員会

議員が聞いた!

ここが知りたい



一般質問

一般質問では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針等、皆さんの生活にかかわる大切な内容について質問を行います。

今定例会では16人の議員が質問をしました。議員1人あたりの持ち時間は質問と答弁を合わせて1時間以内です。ここでは、内容を要約して掲載しています。未掲載の質問などは、映像配信や会議録(2月下旬掲載予定)でご覧いただけます。議員ごとに掲載の映像配信QRを読み取っていただくと、一般質問の冒頭から映像がご覧になれます。

一般質問や閉会日にはライブ中継を実施しています。次回の日程については裏表紙をご覧ください。

安城市議会

検索



【映像配信】



【会議録】

左のQRを読み取ってご覧ください。
※パケット・通信料がかかります。

安城創生会

まつもと か え
松本 佳栄議員

録画配信中



令和7年度当初予算編成について

問 予算編成における市長の考えは。

答 目指す都市像「ともに育み、未来をつくるしあわせ共創都市 安城」の実現に向け、「子どもを核としたまちづくり」を着実に進めるため、全ての施策分野で「子どもを育む」という視点を取り入れた予算を編成していく。

児童手当の改正について

問 どのような改正が行われたのか。

答 支給対象年齢が高校生年代までに拡大され、所得制限は撤廃。第3子以降の月額支給額が一律3万円に増額。第3子以降の算定方法が高校生年代までの子どもの人数から22歳の年度末までの人数に変更された。



認知症施策について

問 各福祉センターや町内会において、認知症の早期予防や早期発見に向けた取り組み内容は。

答 身近な場所で介護予防に取り組めるよう講座や教室、サロン活動等を実施している。こうした活動に多くの専門職も関わり、早期発見や早期治療につなげている。



公明党
安城市議団

そう ふみ よ
宗 文代議員



録画配信中



食品ロス削減の推進について

問 食品ロス削減と共生社会の構築への取り組みは。

答 行政と民間が協力して取り組むことが重要。フードバンク活用を社会福祉協議会に依頼し、生活困窮者への支援を続けている。市主催イベント等で回収した食品を子ども食堂の支援団体に届けたり、市民交流センターで回収した食品を子ども食堂等へお渡しする予定。



保育ソーシャルワークについて

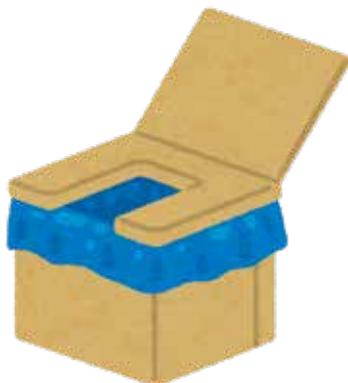
問 保育ソーシャルワークについての所見は。

答 導入は考えていないが、今後その効果や導入自治体の状況を確認し、調査研究を進める。

災害時の衛生環境の整備について

問 災害時のトイレ確保の取り組みは。

答 令和9年度までに避難所等50カ所へマンホールトイレを整備予定。また、携帯トイレ約20万個、簡易トイレ487基を備蓄している。トイレカー等についても調査研究を進める。



みらいの風

よこた まさし
横田 雅史議員



録画配信中



安全で快適な自転車利用環境について

問 自転車ネットワーク整備計画では、今後どのように整備を進めていくのか。

答 通勤や通学、観光など明確な移動目的のあるルート優先整備路線としている。今後は駅から学校までの通学ルートについて、多くの自転車利用が見込まれることから、優先的に整備を進める。来年度以降はJR安城駅から安城東高等学校を結ぶ路線などの整備を予定している。

問 自転車の交通違反が原因で発生した交通事故の主な違反形態と違反者の多い年代は。

答 主な違反形態は、前方や左右の安全不確認による安全運転義務違反が最も多く、次いで指定場所一時不停止等違反となっており、この2つの違反が大半を占めている。違反者の多い年代は、10代以下が半数以上を占めている。

問 自転車の交通ルール遵守に向けた、本市の取り組みは。

答 安城警察署と連携し、小中学生に自転車利用時の注意点等を指導する交通安全教室、中高生を対象に通学時における自転車運転指導を実施している。また、高齢者を対象とした交通安全研修会や自転車大会などの取り組みにより、交通安全意識の高揚を促している。今後は特に通学時における自転車運転指導の実施箇所や回数を増やすとともに、ヘルメットの着用をはじめとする自転車利用時の交通ルール遵守の重要性を周知し、自転車事故の被害者にも加害者にもならないよう、より一層の交通安全教育を推進していく。



安城創生会
いとう やすのぶ
伊藤 康伸議員

録画配信中




能登半島地震から見た課題について

問 被災地支援から見た課題に対し、市はどのような対応を考えているのか。

答 水道の重要管路等の耐震化や応急給水栓の設置を進める。また、災害時での支援活動を効率的に行うためのシステム導入等の検討を進める。



旧種鶏場跡地の活用について

問 今後の進め方と一時利用は。

答 今年度末までに、跡地活用の方針案を取りまとめ、次年度以降、事業者の公募に向けた検討に着手する。跡地活用が開始するまでの間、一時的に一部エリアについて民間事業者への貸し付けを検討している。



犯罪抑止モデル地区事業について

問 モデル地区の篠目町を含め、多くの地区で刑法犯認知件数が増加している。市として今後どういった活動を行っていくのか。

答 引き続き特殊詐欺対策装置や防犯用具の購入費補助金制度の活用を促す。各町内会の自主防犯活動に対する継続的な支援や警察と協働し、市民の防犯意識向上のための施策を打っていく。

安城創生会
まつ お まな き
松尾 学樹議員

録画配信中




旧北部学校給食共同調理場跡地の活用について

問 解体工事の完了が間近に迫ったが、旧北部調理場跡地の現在の状況は。

答 整地工事が進められ、令和7年1月に全ての工事が完了する見込み。

問 跡地は、早期に有効な活用を図り、決定にあたっては地元住民などへの情報提供、合意形成はどう考えているのか。

答 活用方法は、今後、各公共施設の状況をはじめ、行政課題や市民ニーズなどを整理して決定していく。方針が決定したら、市民への周知はもちろん、地域住民へ丁寧に説明し、ご理解をいただけるよう努めていく。



戦後80年安城市平和祈念式典について

問 令和7年は、第二次世界大戦が終結した昭和20年からちょうど80年を迎える年となる。来年度も戦後70年と同様の平和祈念式典をこの機に開催する考えがあるのか。

答 戦後80年にあたる令和7年も、戦後70年と同様に本市主催による平和祈念式典を開催する。開催日や会場など内容の詳細は未定だが、遺族会の皆様のご要望をお聞きし、内容の調整を進めている。



安城創生会

みやざき ちはる
宮崎 千春議員



録画配信中



自主防災組織の防災訓練について

問 南海トラフ地震発生を想定した、自主防災組織を中心とした実践的な避難所開設・運営訓練を行う必要があると思うが、市の考えは。

答 避難所の開設・運営を円滑に行うためには、一連の流れを確認する実践的な訓練は有効であることから、実施に向け積極的に検討を進める。



庁舎内の不審者侵入対策について

問 市役所に電話の通話録音装置を導入しては。

答 職員の接遇意識を高めるとともに、安全で安心して業務に専念できる職場環境を整えるため、通話録音装置の導入を検討する。



多文化共生の取り組みについて

問 多文化共生拠点についての市の考えと今後の展開は。

答 現在、試行的に取り組んでいる多文化共生サロンを拡充し、市民が自由に集い、交流ができ、多文化共生を推進できる場所としての拠点設置に向け検討していく。

安城創生会

いしかわ
石川 いくこ議員



録画配信中



シン・シティプロモーション ふるさと納税について

問 本市のふるさと納税による減収額と方策は。返礼品につながるために、個店の創業などの支援は。

答 ふるさと納税減収額は7億9000万円余。方策として地元農家や企業とのつながりを持つ団体に協力を受け、新規返礼品提供事業者の発掘を進め、返礼品数の増加に努める。

創業時の新ビジネス支援補助金や空き店舗活用事業補助金、また安城ビジネスコンシェルジュで相談支援をしている。



ペット避難について

問 大規模災害発生時にペットと一緒に居たいため、避難所に避難しない等の声がある。そこで、避難所での受け入れ、及び啓発、またペット防災手帳を作成する考えは。

答 ペットは飼い主と同行避難し、避難所の軒下や自転車置き場等で飼育してもらうことにしている。啓発では、新たに自主防災リーダーを対象に「災害時のペットについて」の研修を実施した。ペット防災手帳は今年度中の作成を予定している。



◆その他の質問…SHOW-WA、新美南吉の資料について、アンフォーレの販わり創出について

安城維新

やすたか
すば 康貴議員

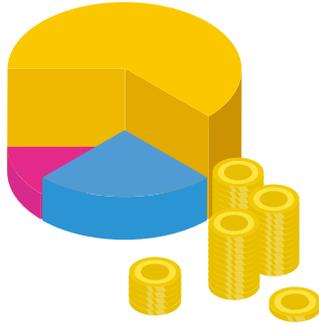
録画配信中




令和7年度の歳入について

問 令和7年度に10億円を超える規模で市税の減収が見込まれる場合、市の独自施策の取り扱いの対応は。

答 大幅な市税の減収が見込まれる場合、市独自の施策を始め、あらゆる事業について必要性、優先度を精査し、事業の縮小や延伸など、大幅な見直しを行うことで財源を確保する。



行政改革について

問 行革効果額は、歳出削減額と自主財源確保額を積み上げて算出している。改革の取り組みによるコストを考慮すべきと思うが市の考えは。

答 コストを反映することは望ましいが、取組内容が明確に決まっていないため実務上困難である。可能な範囲で反映の方策を研究する。



事務事業総点検について

問 外部評価を動画などで公開する案について見解は。

答 開催当日に外部評価の様子を傍聴でき、後日、議事録と評価結果を市公式ウェブサイトで公表しているため、現時点では動画などでの公開は考えていない。

安城創生会

のば はなよ
野場 華世議員

録画配信中




車を運転できない人の移動支援について

問 移動支援団体は篠目町と古井町と別所団地、NPO法人ingがある。依頼件数は年々増加だが、運転ボランティアの不足などが課題。団体への支援は。

答 団体の負担を早期に軽減することは重要。補助上限額の引き上げは見直しを検討する。



家康につながる安城松平家の歴史事業について

問 安城松平4家は家康につながる名門。歴史博物館の常設展示改修やPR強化を。また、山形県上山城主として現地で語り継がれている藤井松平家は市の財産。上山市との市民交流について市の考えは。

答 安城松平4家PRは、歴史博物館にパネル設置や学校への出前講座で興味を持たせたい。藤井松平家の功績を市民に伝えることは郷土愛を育む。将来、現地と市民交流できる環境づくりを検討する。



新安城駅周辺のまちづくりについて

問 連続立体交差事業の今後の展開は。

答 本市では類を見ないほど大規模かつ長期に渡る事業。地元との対話を重ねながら、事業着手に向け丁寧かつ着実に進める。

新社会

いしかわ つばさ
石川 翼議員

録画配信中



防犯灯の設置増設について

問 令和3年度から令和5年度における防犯灯の新設数は。また、令和6年度の速報値は。

答 令和3年度は1982基、令和4年度は43基、令和5年度は83基。令和6年度は91基の予定。

問 西三河各市では、人口100人あたり何基の防犯灯が設置されているか。

答 岡崎市7.2基、豊田市7.1基、西尾市6.9基、知立市6.5基、刈谷市5.6基、高浜市5基、碧南市4.9基、安城市4.8基、みよし市4.2基。



土木要望について

問 令和5年度の町内会要望の総件数、実施率は。また、要望の多い上位5町内会、下位5町内会の要望件数と実施率は。

答 総件数は1418件、実施率は36%。要望の多い町内会は1位が98件(20%)、2位が78件(49%)、3位が74件(28%)、4位が60件(37%)、5位が54件(48%)。要望件数0件が13町内会。



安城創生会

かみや きよたか
神谷 清隆議員

録画配信中



教育問題について

問 不登校の要因について、本人と学校側の認識がずれているが、その理由は何か。

答 従来から、全国の不登校児童生徒の実態については、文部科学省が平成14年度から毎年実施してきた「児童生徒の問題行動・不登校等、生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果によって、広く公表されてきた。この調査には、「不登校の要因」という調査項目があり、あらかじめ示された13の項目から一つを選択して回答する形式であった。実はかねてより、この調査項目について、学校現場からは実態に即していない旨の意見が多くあった。つまり、不登校の要因は複合的であり、容易に特定できるものではないという見方である。

このたび、文部科学省の委託調査「不登校の要因分析に関する調査」によって、従来の調査結果と実態とのずれが見られた。そのため、今年度から「児童生徒の問題行動・不登校等、生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査項目が変更となった。「不登校の要因」という項目が「不登校児童生徒について把握した事実」という項目に代わり、いじめの相談があったかなど、14の項目から当てはまるものすべてを選択する方法になった。

本人の自尊心を大切にしながら、担任やその他の教員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、様々な立場の者が関係性を築きながら、要因を探りつつ、個々の実態に即した対応に努めている。



安城創生会

おおみ まなぶ
大見 学議員

録画配信中




都市計画道路安城新田線について

問 安城新田線の4車線化の計画は。

答 安城高浜線の交差点から大岡町荒古交差点までの区間では現時点における事業化の見通しは立っていない。

がん検診受診率向上策について

問 受診率向上のための新たな取り組みは。

答 初めてがん検診の受診ができるようになる40歳の人に対して、市から受診券と問診票を送付するよう



にしたり、前年度に市のがん検診を受診した人に、毎年、引き続き受診してもらうように勧奨したりするなど、受診率の向上につながる取り組みを検討する。

犯罪被害者等支援について

問 犯罪被害者等支援条例の制定について、市の考えは。

答 犯罪被害当事者団体や犯罪被害者等の支援団体、警察などの関係機関、有識者等からご意見をいただきながら、令和8年4月の条例の施行に向けて取り組んでいく。



安城創生会

たけうち りょうと
竹内 稜人議員

録画配信中




コミュニティ・スクールについて

問 今後の小中学校への展開は。

答 令和8年度から第2期モデル校を3校選定。桜林小、安城北部小では小中連携の検証。また、安城南中を選定し、全市展開を進めていく。



問 長期的なロードマップは。

答 第2期モデル校の後は、届出により順次設置。令和13年度までに、全中学校区での設置を目指す。その後、全ての小中学校に設置する予定である。

生き抜く力を育むキャリア教育について

問 定義と意義についての考えは。

答 自分らしい生き方実現のため、人間関係形成、自分の理解・管理、課題対応、役割理解の4つの能力を高める。地域の特色を生かした計画で全教育活動を通じ実践。外部環境との連携に注力する。

問 小中学校での具体的な取り組みは。

答 学校ごとの計画に基づき、柔軟に実施。行事や地域人材との交流、体験活動、日常の校内活動を通じ、学びの狙いを明確化し、事前事後指導を重視。振り返りで成長を確認、将来志向を育む。コミュニティ・スクールの展開を通して推進していく。



安城創生会

すずき ひろし
鈴木 浩議員

録画配信中



城ヶ入町本郷交差点について

問 令和5年の12月議会の一般質問で、城ヶ入町本郷交差点で、右折帯設置と歩道設置の質問をした。「整備効果を評価した上で、適切な整備時期を見定めていく」との答弁であったが、その後概略設計などで検討された結果は。

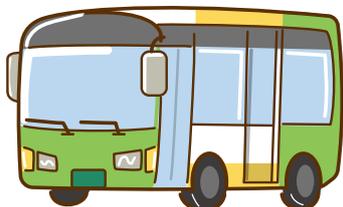
答 城ヶ入町本郷交差点では交差する道路にそれぞれ右折帯を設置し、交差点から西海橋までの約300m区間では両側に歩道を設置する整備内容を取りまとめた。来年度からの実施計画に定め整備を進めていく。



あんくるバスの増便について

問 南部線の、あんくるバスの利用者から「便数を増やしてほしい」と声が上がっている。他の路線も、同じような声が多いと聞いている。南部線で延長増便を考えてほしい。実証実験はできないか。

答 あんくるバスの運行時間や運行本数などの、サービス水準については、道路運送法に基づく安城市総合交通会議において、利用実態や運転手の労働時間、交通事業者の運営などを勘案して定められている。最終便から増便することは実証実験でも困難な状況である。



新自民の会

しらやま まつみ
白山 松美議員

録画配信中



多文化共生について

問 外国人との交流は大いに推進するべきだが、安易な多文化共生は市民にとって有益なものになりづらいと考える。

市民は、本市の多文化共生プランの内容を熟知しておられるのか。

答 熟知しているかは把握していない。

問 現在「第3次多文化共生プラン」を作成中だが、世界及び国内で起きている多くの問題についてどのような解決策が示されているか。

答 問題によって市としてできる事とできない事がある。国籍にかかわらずお互いに理解し尊重し合う意識の啓発・醸成に取り組んでいく。

問 多文化共生プランではなく、多文化交流プランにとどめるべきではないか。

答 国の「地域における多文化共生推進プラン」で、地域の多文化共生を「国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていくこと」とあり、共生を用いていく。

問 外国人による「郷に入れば郷に従う」の理解と実践が必要と考えるが、多文化共生を推進してきた市の責任において、外国人に対し充実した指導・教育をしてきたといえるか。

答 外国人が、地域で暮らす上で必要なルールや制度を認識し、また、日本語能力の習得に努められるよう、多文化共生プランを策定し、様々な取り組みを行ってきたが、道半ばという状況であると認識している。



日本共産党
安城市議員団

もりした さちこ
森下 様子議員

録画配信中




街にみどりを増やす取り組み

問 「安城市緑の基本計画」で定める緑化重点地区における今後の取り組みは。

答 公園リニューアル整備計画に基づき、5カ所の整備が完了。今後、11カ所の整備を順次進める。また、公園不足地域の横山地区に新たな街区公園の整備を進めたい。これらの取り組みにより、街の緑化を推進する。

問 街なかの街路樹設置の考え方は。

答 市街地で十分な歩道幅員を有する駅周辺の道路などに街路樹を設置することとしている。設置の際は、地元住民の愛着が芽生えるようワークショップを行い、樹種を選定するなど、質の高い緑化に取り組む。



非核平和都市宣言

問 「平和都市宣言」を行うとのことだが、名称に「非核」をつけないのか。

答 近年では、世界の恒久平和の実現を願うという観点から、名称を「平和都市宣言」とする自治体が増えている。宣言の内容については、今後検討する。



議会体験講座を開催しました

将来の地方自治を担う子どもたちに、市議会のしくみを学び、議会の体験を通じて、議会や市政に関心を持ってもらうことを目的に、12月に小学4～6年生対象の議会体験講座を実施しました。

参加者からは「議会についてよく知ることができておもしろかった」、「体験できたのがよかった」などの感想がありました。



さわやかマナー啓発キャンペーンを行いました

本市では、快適で安全なまちづくりを目的に「歩きスマホをやめよう」などのマナーを定めた「安城市さわやかマナーまちづくり条例」を制定しています。

11月に、さわやかマナー推進地区にも指定されている市内の主要駅で、駅利用者には市議会議員がポケットティッシュやばんそうこうを配布し、啓発をしました。



先進地の
事例を
調査!

報告

委員会が調査を行いました



※紙面の都合により、調査先は1カ所のみを記載しています。
すべての調査先の報告内容はウェブサイトでご覧ください。

議会運営委員会

9月30日～10月2日

◆茨城県結城市 『ハラスメント対策について』

結城市議会では、令和5年秋頃からハラスメント防止条例制定に向けての機運が高まり、議論開始からわずか1カ月ほどで条例制定に至った。全国的に特別職や議員の不祥事が多く報道され、とにかく早く制定すべきとの判断によるとのことだった。いわゆる理念条例ではあるが、条例があることにより、ハラスメントの抑止になり、行き過ぎた言動や行動が抑えられているとのことだった。

本市議会でも、まずはハラスメントに対する理解を深めるための研修など、ハラスメント防止のための取り組みの必要性を改めて感じた。



未来型スマートまちづくり特別委員会

10月29日～31日

◆Zip Infrastructure株式会社(福島県南相馬市) 『自走式ロープウェイZipparについて』

開発中のZipparは、次世代交通システムで、既存のロープウェイとは異なり、固定されたロープ上を、モータ・バッテリーを搭載したゴンドラが走行する。また、カーブや分岐を自由自在に設けることができ、柔軟な路線設計ができることや、モノレールと比べて約5分の1のコストで建設可能であるなどの特徴がある。道路上の空間に設置することが可能で、渋滞に左右されずに走行することができる。

自動運転であることから、運転手不足の課題解消にもつながる。導入に向けて調査を行っている自治体もあり、今後の動向に注視しつつ新たな展開に期待したい。



少子化対策特別委員会

10月29日～31日

◆東京都港区 『産前産後家事・育児サービスについて』

港区では妊娠中から3歳になるまでを対象とした家事支援、産後7カ月になるまでを対象とした産後ドゥーラを実施している。産後ドゥーラは、家事支援に加えて、産前産後の女性特有のニーズに応え、心身の安定と身体の回復、赤ちゃんの育児や新しい生活へのスムーズな導入を目的に母親の気持ちに寄り添った母親のためのサポートを実施している。核家族や転入者の多い地域柄、身近に子育てで頼れる人がいないためニーズが高く、徐々に利用時間も拡充されている。産後ドゥーラの資格取得のために、東京都による予算措置がある。令和6年10月から本市でも「産前産後支援事業」と「子育て世帯訪問支援事業」に産後ドゥーラの事業者が参入したため今後を注視していきたい。



高校生 × 市議会 ～安城東高等学校～

今号は安城東高等学校とのコラボ！市議会だより編集委員が、表紙作品を制作してくれた美術部3年生の高橋萌吹さん、生徒会長2年生の羽多野結月さん、訪豪団2年生の馬場一旗さんにインタビューしました。(11月11日訪問)

Q.表紙の絵について聞かせてください。

A.リアルだけど、現実では少しあり得ないような作風が好きで、猫の茶色の毛並みの中にいろいろな色を入れるなど意識しながら書きました。

Q.完成にどれくらいの時間がかかりましたか。

A.約3カ月です。1日2時間程度で、週2の部活動で描き上げました。



高橋さん

『創立50周年に向けて』

卒業生の方々にも、在校生の皆さんにも記憶に残る式典になるように準備していけたらと思います。



羽多野さん

Q.東高祭について教えてください。

A.6月に開催し、各学年1クラスずつ他学年と1つの団になって縦割り団を9団作ります。今年は青団が優勝しました。東高祭は、高校生活の一番の思い出になりました。

Q.オーストラリア研修について教えてください。

A.7月後半から6日間、メルボルンに訪問しました。外国人の先生との面接やパワーポイントを作って英語で発表するなどの選考がありました。英語に自信がなく最初は心配でしたが、1家庭に1人でホームステイし、貴重な経験となりました。



馬場さん



荻名美由起委員長

議会だよりをぜひ見ていただいて、市がやっていることや議員の発言内容に興味を持っていただけだと思います。私たち議員は地域の困り事を聞いて解決法を考えています。高校生の皆さんにも提言の機会や、身近な困り事相談などの機会があるといいと思います。



石川健一委員



＜ 3月定例会の開催予定 ＞

- 2月28日(金) 開会・市長施政方針
- 3月 4日(火) 代表質問
- 5日(水) 一般質問
- 6日(木) 一般質問
- 10日(月) 一般質問予備日
- 12日(水) 議案質疑
- 13日(木) 産業建設常任委員会
- 14日(金) 市民文教常任委員会
- 17日(月) 健康福祉常任委員会
- 18日(火) 総務企画常任委員会
- 24日(月) 閉会

KATCHI放映(録画)

- 3月 5日(水) 午前 9時
- 14日(金) 午前10時
- 18日(火) 午前10時
- 21日(金) 午前10時
- 27日(木) 午前10時※



※会議を開催した場合のみ放映

放送日時が変更になる場合があります。
地上デジタル112チャンネルで録画放映されます。

- ・開始時刻は午前10時(予定)からです。
- ・一般質問は午前9時45分(予定)からです。
- ・請願、陳情の提出締め切りは2月18日(火)です。

QRコードは簡丹ソーウェブの登録商標です

